

# 学校関係者評価結果と今後の改善策

## 1 学校関係者評価結果

<評価の目安>

4…とてもそう思う 3…少しそう思う 2…あまりそう思わない 1…まったく思わない

番号	評価項目	評価結果
1	学校教育目標、めざす児童像、めざす教師像は適切である。	4. 0
2	「【知】かしこい子」を踏まえた教育活動を展開し、成果が見られた。	3. 6
3	「【徳】やさしい子」を踏まえた教育活動を展開し、成果が見られた。	4. 0
4	「【体】たくましい子」を踏まえた教育活動を展開し、成果が見られた。	4. 0
5	「【絆】安心・安全で開かれた学校づくり」を踏まえた教育活動を展開し、成果が見られた。	4. 0
6	保護者や児童アンケート、教職員による評価の結果を踏まえた経営の改善を行ってる。	4. 0
7	保護者や児童アンケート、教職員による評価の結果を踏まえた次年度へ向けた改善方策（案）は適切である。	4. 0

## 2 今後の改善方策

学校関係者評価委員会では、概ね肯定的な評価をいただきました。ご意見として、「前期と後期を比べると、全体的に後期の方が、肯定的な意見が増えている。否定的な部分については、改善方法をもって取り組んでいくとよい。」「読書については、保護者も読む習慣がないと思うので、難しい」「宿題については、各学級で質と量に差があるので、どのように実施するのか考えてほしい。」など、挙げていただきました。次年度に向け、改善方策として、以下のような取り組みをしていきたいと思えます。

【かしこい子】について、児童を主体とした授業づくりに向けて研修の充実を図ります。また、児童が自らの課題をもとに主体的に学びに向かえるように、家庭と連携して自主学習の充実に努めます。また、「本に親しむ」活動の充実に向けて、保護者との情報共有を図ります。

【やさしい子】について、自分や友達の良さがわかり、認め合えるようになっているので、今後も継続して行事を実行委員が中心となって計画運営したり、縦割り活動を充実させたりして、自己有用感を高められるようにしていきます。

【たくましい子】について、ロング昼休みを確保するとともに、年間を通して行う縦割り班活動で外遊びをする時間を確保するなど、教科体育だけではなく、体力面での向上を図ります。

【安心・安全で開かれた学校づくり】について、安全な登下校に向けて、保護者、地域の協力を得て行っている交通指導等を継続していきます。さらに、教育相談や心の健康観察の設定などにより、児童一人一人が心身ともに健康な生活を送れるように努めます。また、毎月行う教育相談アンケートに加え、生徒指導主任を中心とした体制を整えることで、早期発見、早期対応に努めていきます。そして、教職員の共通理解をさらに徹底することで、児童一人一人が安心して学校生活を送れるように努めます。